串間市立図書館新刊情報

一般書　9月号

【内容紹介】
「植物をすぐ枯らしてしまう」「土に触ったことがない」人も、大丈夫、ゼッタイ育てられる! 福岡県の園芸店のカリスマ店長が、ひとつから始めてみるフラワンダフルな植物の楽しみ方を豊富な写真とともに伝授。

【内容紹介】
コロナウイルスの感染拡大によって激変した首都・東京。張り詰めた緊張感や異様さ、そしてそこに生きる市井の人びとの戸惑いや希望をフラットな視野で映し出す、コロナ時代の始まりをとらえた写真集。

【内容紹介】
年を重ねることは、器量よしになることだ。今までの人生が多少とも他人から必要とされるものならば、私の今ある器量を惜しげなく提供しよう。老いてわかった人生の心得を綴る。

【内容紹介】
わたしは小学校に上がるまで、どこの家も満員御礼で暮らしているのだと疑っていなかった…。中島らもを父にもつ著者が、自身の破天荒でファンキーな「家」を舞台に、世にも奇妙な小学4年生の夏休みを描く。自伝的長編。

【内容紹介】
ある朝、目を覚ますと腕に大きく「神様当番」と文字が! 突如目の前に現れた「神様」のお願いを叶えないと、その文字は消えないようで…。ムフフと笑ってほろりと泣けて、最後は前向きな気持ちになれる、5つの物語。

【内容紹介】
クレリックシャツ、ボーダーTシャツ、テーパードパンツ、ハーフパンツ、バケットハット…。世代を問わず楽しめるシンプルなデザインのメンズウエア21点を、くわしい写真解説つきで紹介する。

【内容紹介】
失恋し、やけ気味に申し込んだ婚活パーティーで“運命の人”と出会った。その翌日、僕は中学2年生になっていて…。人生をやりなおし、何もかも手に入れた男が、本当にほしかったものとは? ボーイミーツガールストーリー。

【内容紹介】
書いた記憶のないノート、買った覚えのないパーカー、街を歩けば知らない人から声が掛かり…。脳内に13人の人格が存在する「解離性同一性障害」の当事者に起こったリアルを描く。

【内容紹介】
「まずいものは食いたくない」がモットーの父。怒りん坊の亭主と子供達のために台所に立ち続けた母。毎食が波乱含みの一家の歴史を、食卓の情景で綴る。和田誠への追悼文も収録。『波』『クロワッサン』掲載を書籍化。

【内容紹介】
漢方や薬膳を気軽に日常生活に取り込むための本。日本漢方の中心的な考え方、漢方と薬膳の基本、体質や症状に合わせた一般的な生薬について解説。専門家おすすめの気軽な薬膳メニューも紹介する。

【内容紹介】
面倒くさいと思ったらガッツポーズ! 苦言はいちばんの褒め言葉! やりたいことはクセにしろ! ポジティブになれる松岡修造の言葉を、悩みに答える形で収録する。『BAILA』連載を加筆し書籍化。

【内容紹介】
楽しみながら脳を元気にしましょう! 遊び感覚で楽しく脳を鍛えながら認知症予防もできる、新しいジャンルの「脳トレ」、脳の健康法。さがし絵を楽しみながら認知症を予防するために気をつけるべき知識が自然と身につく一冊。

【内容紹介】
両親、友だち、恋人と呼べない関係だけど大好きな人、再会した元カレ…。30代半ばの働く女性の人間関係と複雑な心模様を描いた、著者初の本格長編恋愛小説。『文學界』連載を加筆し書籍化。

【内容紹介】
長年、企業の現場研究に携わってきた著者が抽出した「日本一」価値のある企業とは? 「陰山建設」「昭和測器」「ツマガリ」「出雲土建」など、人を大切にする、人が幸せを感じるいい会社7社を紹介する。

【内容紹介】
瀬戸内の粟島にある古い郵便局舎を蘇らせたアートプロジェクト、漂流郵便局。「届け先のわからない手紙を受け付ける郵便局」として預かった4万通の手紙から、お母さんあて、お母さんからの手紙を収録。オリジナルはがき付き。